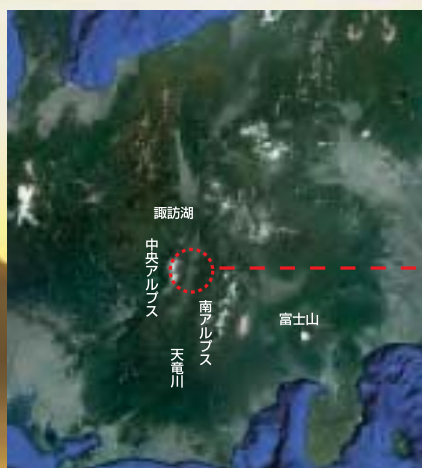


KOMAGANEKOGEN SABO FIELD MUSEUM



駒ヶ根高原
砂防フィールドミュージアム

利用案内



約70万年前から現在へ。
そして、これからのを考える。
駒ヶ根高原砂防フィールドミュージアム。

大地の鼓動と 人々の歴史を体感。

駒ヶ根高原砂防フィールドミュージアムは、中央アルプスから絶え間なくながれる太田切川流域周辺に点在する自然、風土、ここで暮らしてきた人々が築き上げた文化や知恵などの資源とした青空博物館です。何気ない風景でも違った視点から見ることにより、新たな発見に出会えることでしょう。

それは感動であったり、時には深く考えさせられたりすること。この魅力を是非とも体感ください。

Point

1

約70万年前

長い時間にわたる地球活動のダイナミズムを体感

中央アルプスの隆起を起源とした、駒ヶ根高原の雄大な大地を形成してきた大地の運動や自然そのものを体感いただけます。



Point

2

厳しい自然環境と共生してきた先代の人々の歴史

生命の源である水を確保し、この地で暮らしてきた知恵と苦労など。変化を続ける厳しい自然環境の中でこの地を発展させてきた人々の歴史に触れます。



Point

3

現在

近年の豊かな暮らしとこれからの考える

地域の安全性と利便性の向上を遂げてきた中でも、これからも人が自然と向き合っていくために必要なことや忘れてはいけないことを考えます。



宮田村





グランドキャニオン(アメリカ)

躍動する地球。 変化に富んだ大地

世界各地には、まさに息を呑むような美しい景観が数多くあります。

あらゆる生物の心を魅了してやまないその絶景の源は、

数億年の年月で繰り広げられる地球の躍動にあります。

今、このような自然が作り上げた貴重な資産ができた経緯を、

その形成過程や周辺の社会環境から理解することが注目されています。

地球の上で暮らすわたしたちが大地のことを正しく、

そして深く知ることはとても重要なことなのです。



高原と山並の情景(スイス)



小笠原諸島(日本)



火山噴火

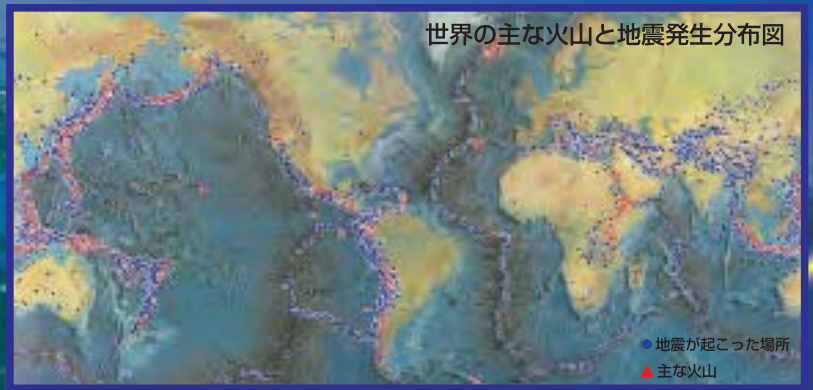
霧島山・新燃岳噴火(2011)



地震

阪神・淡路大震災(1995)

世界の主な火山と地震発生分布図



駒ヶ根高原

北アメリカプレート

太平洋プレート

ユーラシアプレート

フィリピン海プレート

集中豪雨



ゲリラ豪雨・神奈川県(2008)

土砂災害



新潟県中越地震による土砂ダム(2004)

変化を続ける、 日本の大地。

4つのプレート境界に位置する日本列島では、そのプレートの運動によってたびたび地震や火山噴火が発生します。

また、近年では地球温暖化の影響ともいわれる集中豪雨も多発しています。

そして、これらの自然現象は、

時に大規模な土砂移動をも引き起こします。

日本の大地はこれからも変化を続けることでしょう。



百間ナギ崩壊地



こもれ陽の径(西エリア)



宮田村総合公園

至駒ヶ岳ロープウェイ・千畳敷カール
 中部電力新大田切発電所
 犬市淵 五郎淵 樋 淵

KOMAGANEKOGEN SABO FIELD MUSEUM
駒ヶ根高原 MAP
 砂防フィールドミュージアム



〈七名石〉太田切川に点在する7つの巨石



駒ヶ根高原美術館



太田切川床固工群



光前寺

凡例				
	駐車場	トイレ	宿泊施設	バス停





**駒ヶ根高原
砂防フィールドミュージアムは、
こんな活用ができます！**

防災

土砂災害の実態を正しく知る。

地震や火山噴火、降雨などの様々な自然現象が原因となって発生する土砂災害ですが、実際に災害を体験された方は多くありません。当施設では、太古からくり返された土石流などの土砂移動現象の痕跡等をご覧いただくとともに、屋内施設における研修が可能です。

教育

土地の成り立ちから人々の暮らしを学ぶ。

太田切川を境とする駒ヶ根市と宮田村。駒ヶ根高原の広大な扇状地の上で暮らす人々は、厳しい自然環境を向き合い、共生してきました。当施設の資源を巡りながら、ガイドから見聞きする人々の暮らしのエピソードは、感動したり時には深く考えさせられたりするでしょう。

観光

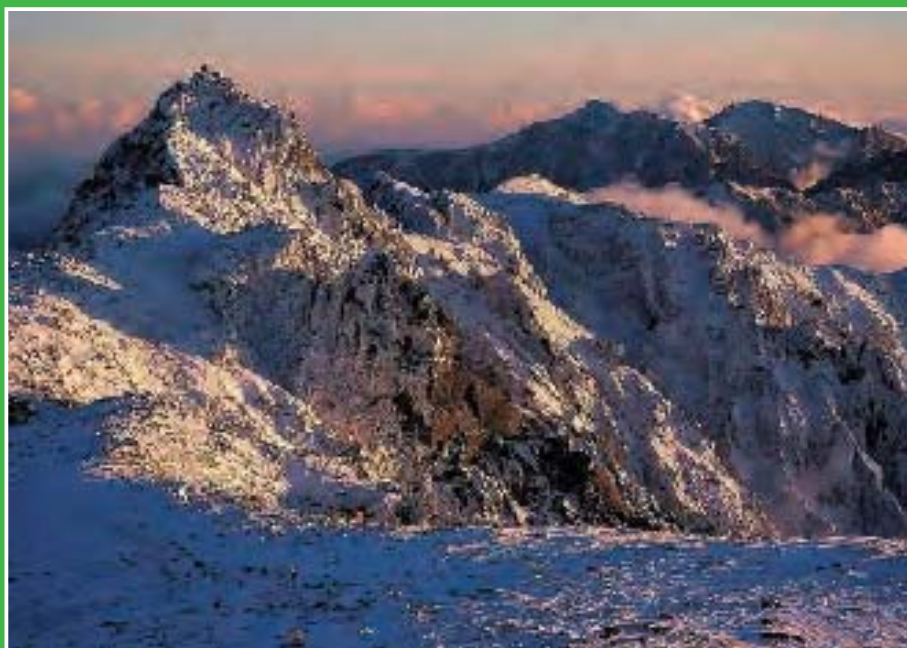
旅先での交流や風土に加え、自然災害を味わう旅。

旅先での交流やその土地を深く味わいたいというニーズに加え、自然災害に対する関心が高まりつつあります。当施設では、過去の自然災害の遺構のほか、降雨体験装置も配備しております。観光を楽しみながらも自然災害についても考えてみる、そんな旅づくりをサポートします。

KOMAGANEKOGEN

SABO

FIELD MUSEUM



駒ヶ根高原砂防フィールドミュージアム活用促進協議会

■構成組織

会長:駒ヶ根市長

副会長:宮田村長

駒ヶ根市(都市整備課、庶務課、子ども課、社会教育課、商工観光課)

宮田村(建設課、総務課、教育委員会、産業課)

国土交通省天竜川上流河川事務所

■サポート団体

中部建設協会、長野県砂防ボランティア協会、
地すべり学会中部支部、飯島いいもの作ろう会、
天竜川ゆめ会議、伊那谷自然友の会

■顧問

中村三郎(防衛大学校名誉教授)、北澤秋司(信州大学名誉教授)